

1 地域づくり団体全国研修交流会 2

第25回地域づくり団体全国研修交流会

2 いしかわ地域づくり塾の報告 3

白山麓編／穴水編

3 自律した地域づくり活動に向けて 4

地域づくりミニシンポジウムの開催について

4 地域づくり総務大臣表彰 5

藤瀬霊水公園管理組合

5 大学と地域が連携する地域づくり 6

地域課題研究ゼミナール事業

地域貢献型学生プロジェクト事業

6 NEWS & INFORMATION 8

募集／イベント

いしかわ地域づくり 往来

www.pref.ishikawa.jp/shinkou/juku/

発行日／平成20年3月31日

発行／いしかわ地域振興推進協議会

発行者／いしかわ地域振興推進協議会事務局 事務局長 森田 美恵子

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

石川県企画振興部地域振興課内

TEL.076-225-1312 FAX.076-225-1328

vol.3

I s h i k a w a L o c a l R e v i t a l i z a t i o n A l l R i g h t



ヘルスロード・桜並木(能美市)

地域づくり団体全国研修交流会

2月1日～2日にかけて、第25回地域づくり団体全国研修交流会が茨城県で開催され、全国から地域づくりに取り組む方々が参加し交流を深めました。

その研修交流会の様子を、「能美の里山ファン倶楽部」の谷田さんに紹介していただきます。

第25回地域づくり団体全国研修交流会

能美の里山ファン倶楽部 谷田直樹

能美の里山ファン倶楽部は、市民と行政等の協働により、能美市の約半分を占める里山地区の活性化を目指して活動している地域づくり市民団体です。

今回の研修交流会は、全国各地で活躍している方々との交流を通じて多くの学びが得られる絶好の機会であり、本会からは6名が参加しました。茨城県は初めてという参加者がほとんどで、郷土の名産との出会いも楽しみのひとつでした。

全体会トークセッションでは、いばらきイメージアップ大賞受賞団体の『茨城ゴールデンゴールズ』と『パンの街つくばプロジェクト』の活動紹介があり、“野球”や“パン”という日本人には馴染みあるシンプルな材料をうまく地域づくりに繋げていると感じました。中でも、茨城GG球団代表の「何かを興すときは発明がないと動かない」「原点を変えずに伝える方法を変える」という言葉が印象に残っています。

つくば市での分科会では、小田宝篋山から眺める広大な関東平野、筑波山神社拝殿参拝と巫女さんの雅楽の舞・宝物の見学等、本物の体験を通してすっかり旅人気分になることができ、この間お世話いた

だいた方々の古里に対する熱い郷土愛とてなしの心を強く感じさせられました。特に、前つくば市教育長で郷土史家の井坂敦実さんの存在は大きく、地域づくりの陰には強力なリーダーの存在が不可欠であることも裏打ちされていました。また、北条地区の地域再生活動には、筑波大生がボランティア参加しており、大学側もこれを単位認定するなど、産学官民連携協働による地域づくりが目に見える形で現れていました。

この2日間の研修を通して、地域づくりに対する多くの手法を学び、同時に、地域づくりとは行政を含め地域で営みを行う者の『郷土愛』に他ならないことを改めて実感させられました。研修を通して得た経験やネットワークを生かし『能美の里山ファン倶楽部』はこれからも能動的スタンスに心掛け、市民と行政、地域産業、教育機関等を結ぶ中間支援団体として取り組んでいきたいと思っています。

最後に、夜なべ談議で交流を深めた全国各地の皆様と、11月のみかんの時期に開催される次回愛媛県大会で再会できることを楽しみにしています。

小田宝篋山の山頂からは筑波山をはじめ、関東平野が一望できる。この場所もかつては荒廃の一途を辿っていたが、地元NPOにより保全再生が行われている。



「つくば道」沿いにある普門寺にて。平日でも気軽に立ち寄り住職の法話をお茶をいただきながら聞くこともできる。



北条地区「つくば道寄り道マップ」(商工会発行)と連動して店蔵の前に立てられている案内看板。デザインは筑波大生で、ここにも連携協働が見てとれる。



これまで「ゼミ・県外研修編」「インターン編」「事例研究編」と、金沢市内を中心に講座を実施してきた地域づくり塾ですが、より現場のニーズに則した講座を目指し、今回は白山麓地域・穴水町にて、実際に地域づくりに取り組む団体と共に講座を実施しました。

白山麓編 (H20.1～3)

「地域づくりの視点・特有資源を活かす」をテーマに、白山市白峰地区で白山麓編がスタートしました。

第1講では「方言を活かす」と題して、方言の調査研究に取り組んでいる金沢大学教育学部の加藤和夫教授を講師に招き、地域資源としての方言の活用方策を検討しました。また、講義を実践的な活動へと繋げるためグループワークを行い、方言を活かしたまちづくりについての具体的な提案・協議を行いました。

第2講では、金沢工業大学環境・建築学部の谷明彦教授を講師に「伝統的街並みを活かす」と題して、伝統的建造物を活用した地域活性化について講義をいただきました。「住民が主体的に行えること」「手段が正しいか常に考えること」など、まちづくり活動を行う上で重要な観点となる「まちづくり10箇条」が示され、参加者の関心を集めました。

グループワークの発表では、「方言大会」「方言検定」など様々な提案がなされた。(白山麓編)



会場入口には全国からの激励文が多数掲示されました。(穴水編)



穴水編 (H20.3.22)

3月25日で能登半島地震から1年を迎えるのに合わせ、防災問題、特にテーマを被災地における女性が抱える悩みや問題に絞って議論をすることで、非常時に活躍できる地域活動のリーダーの育成を図ることを目的に、「女性のための防災会議」が22日、被災地の穴水町で開催されました。参加者は約500人。

女性の防災活動に詳しい神戸大学経済経営研究所の相川康子准教授による基調講演や「震災から得られる地域の絆」と題したパネルディスカッションが行われました。相川氏は阪神大震災や神戸新聞で勤務していたころのエピソードを交え、男女による作業の固定化に問題提起を行いました。

シンポジウムを通して、災害弱者といわれる人が、災害時にまず頼れるのは近所の住民であることや、「復興感」の高い人は地域とのつながりが高い傾向があることなど「地域の絆」の重要性が再確認されました。

長時間の議論を踏まえ、最後に、さいがいふくし石川の村西智恵子代表が「穴水宣言」を読み上げ採択されました。

参加者の拍手により「穴水宣言」が採択されました。(穴水編)



全国で活躍する地域づくりの実践家が自らの地域づくり活動事例を紹介するミニシンポジウムが輪島で開かれ、多数の参加者が詰めかけました。

地域づくりミニシンポジウムの開催について

3月15日（土）、奥能登行政センターにて「自律した地域づくり活動に向けて～コミュニティビジネスの先進事例紹介～」と題したミニシンポジウムを開催しました（主催：石川地域づくり協会）。83人の参加者に向かって県内外の講師3人が自らの地域づくり活動の紹介を行いました。

まず、柳谷（やねだん）自治公民館（鹿児島県鹿屋市）の豊重哲郎館長が「行政に頼らない地域づくり」と題して今までの取り組みを発表しました。地域づくり活動は地域の全員で取り組まなければならない、リーダーになった者は、住民間で亀裂を生む手法を用いてはいけないこと、相当の覚悟を決めて地域づくりに取り組まなければならないことを強調されました。

NPO フュージョン長池の富永一夫理事長は「協働で実践するコミュニティビジネス」として、近所関係が希薄と言われる都会での地域づくり活動の方法を発表いただきました。大人を巻き込むために、まずはターゲットを子供とし映画など参加しやすい仕掛け

を作ったことなどを紹介した後、能登の農産物等の生産者と東京八王子市周辺の住民とを直接繋ぎ、都会の方々に作り手の顔が見える安全安心な農産物を供給するシステムの構築を提案されました。

県内からは白山市のおはぎ屋の辻貴弘事務局長が「観光ボランティアを通しての地域づくり」と題して自らの活動を紹介しました。辻さんは白山比咩神社の表参道前に位置する古民家を再生しての地域づくり活動を紹介。白山比咩神社への参拝ルートが劇的に変化した事例を紹介されました。

講師3氏にコーディネーターの森山奈美さん（石川地域づくり協会コーディネーター）を加えたパネルディスカッションでは、会場から「地域づくり活動を推進する際に足を引っ張る人はいなかったのか？」などの質問がとんでいました。地域づくりに携わるものに共通する悩みに、講師・参加者の区別なく会場に一体感が生まれていました。

満席の会場からは参加者の関心の高さがうかがえる。



自らの地域づくり活動を熱く紹介する講師陣。



全国各地の地域づくりに取り組む団体を対象に、個性豊かな発想を活かし、魅力あふれる地域づくりを推進して顕著な功績を納めた団体に対し、毎年総務大臣表彰が贈られています。平成 19 年度は全国で大賞 1 団体、団体表彰 25 団体、個人表彰 3 名に贈られ、県内からは「^{ふじのせれいすい}藤瀬霊水公園管理組合」が団体表彰を受賞しました。

ふじのせれいすい 藤瀬霊水公園管理組合

七尾市中島町

NPO 法人 i-ねっと取材チーム

「演劇ロマン駅」とルビの振られた「能登中島駅」から県道 23 号を富来方向へ向かうと、山林を背に、旧鉾打村の藤瀬集落がある。山側の急な山道を少し上がると整備された一角の左手に「藤瀬ふるさと五穀園」と書かれた販売所兼公園管理棟の建物があり、右手の坂道を降りると、湧き水の溢れる屋根付きの水汲み場が、観音堂と並んで建っている。この湧き水は月光観音のお告げで所有者の先代が飲み続けたところ、持病の神経痛が治ったことから「病の治る水」という噂が口コミで広がった。そのため、霊水を汲む車の往来や農道への駐車、ゴミの放置などにより農林作業への支障が深刻になってきた。平成 5 年に、個人所有の湧き水を集落が権利委嘱を受け、「中山間地域農村活性化総合整備事業（2 億円）」を旧中島町に申請し、道路の拡幅工事など周囲一帯の農村公園整備が平成 7 年に完成。さらに、管理運営の経費捻出のため 1 万円の出資者を募り、集落全 65 戸のほか、外からの参加も含め現在 85 名の組合員を持つ、湧き水の衛生管理や公園管理を目的とした「藤瀬霊水公園管理組合」（任意団体）が同年発足することとなった。

入園車両数は年間約 2 万台。管理棟横の駐車場に停める車からは、駐車料ではなく公園維持管理のための料金を徴収して独立採算性の基本をつくり、さらに公園道路沿線農地の耕地放置対策にも着手。平成 10 年からは、地権者 33 名から農地 4.8ha を借り受けて「ふるさと農園」として整備し、キビ、アワ、大豆などの生産、販売を行っている。また棚田オーナー制度や学童農園などの外部参加制度を「ふれあい農園」と呼び、作業支援や交流事業へと展開して行くこととなった。

事務局長の田中和義さんは、「地域づくり総務大臣表彰をいただけたのは、農産物の販売や、都市住民との交流が評価されたのだと思います。これからは、若い人が藤瀬を離れずに働くことのできる環境に育てることと、この地域以外の農地荒廃も防ぎ、合併で閉塞しがちな中島町全体の活性化を考えていくことが課題です。」と熱く語る。

まろやかでやわらかな「霊水」が、藤瀬地区の地域おこしのまさに「呼び水」となった。棚田の耕地に登ると、のどかな中山間地域の原風景が、どこまでも続いていた。

公園管理棟の前で、事務局長の田中さん。



観音堂と霊水が湧く水汲み場。



3 月は中島菜の苗を一区画で作っている「ふるさと農園」。



県と大学コンソーシアム石川は、大学と地域が連携する地域づくりを推進するために様々な事業を実施しています。今回は、以前ご紹介した「地域課題研究ゼミナール事業」の調査研究の結果と、学生の社会参加意欲と地域のニーズをマッチングさせた「地域貢献型学生プロジェクト事業」についてご紹介します。

地域課題研究ゼミナール事業

最優秀賞は「ヘイケカブラの復活」、「穴水町商店街の活性化課題」

この事業は、県内高等教育機関のゼミナールが地域の課題解決を目指して地域と一体となって取り組み、その解決策を提言するものです。平成 19 年度は 22 ゼミが採択され、研究がスタートしました。その研究の成果報告会が、地域の方を交えて平成 20 年 1 月 13 日に金沢で、同 27 日に能登で行われました。その結果は表のとおりです。この報告会においては、地域の方々から「地域の抱える問題解決のためのシンクタンクとして大きな意味を持つので、次年度以降も継続して行っていただきたい」、「地域に暮らしている住民では発想できない考え方があり、大変参考になった」など、学生の熱心な取り組みに対する地域の皆さんの感謝の声が聞かれました。一方で、参加した学生の方からも「普段は聞けない他の大学の多くの発表が聞けたので、面白かった」、「今回の研究は今後の人生に役に立つと思う」などの感想が聞かれました。

各ゼミナールの研究報告書の詳細は、
大学コンソーシアム石川の HP でご覧ください。

http://www.ucon_i.jp/contents/chiiki_kadai19html

1 月 13 日、いしかわシティカレッジで開催された成果報告会で会場からの意見や質問に答える大友ゼミの学生。



最優秀賞受賞
優秀賞受賞

高等教育機関名 / 教員名	提案課題
金沢大学 大友教授	【白山市】白山市の名産品であるヘイケカブラの復活および地域おこし
金沢工業大学 谷教授	【白山市】古民家再生による地域おこし
金沢星稜大学 大藪教授	【加賀市】加賀市東谷地区古民家利用による山菜料理体験とそのデータベース構築
金沢星稜大学 小坂教授	【白山市】伝承芸能、食文化、雪の活用による白山市白峰地区に存在する古民家再生への総合的プランニングの策定
金沢大学 神谷教授	石川県における地産地消推進のための条件—NPO 法人竹の浦夢創塾の取り組みを事例として—
金沢大学大学院 木村教授	石川県における親育ちを支援する子育て支援システムの構築—マイ保育園制度を中心として—
金沢大学大学院 高山教授	【白山市】白山麓地域における観光・生活交通支援のための 2 次交通のあり方に関する調査研究
金沢大学 西本准教授	合併により加賀市の一部となった山中町の民俗伝統の調査研究
北陸先端科学技術 大学院大学 伊藤准教授	【白山市】白山ろく「出作り」文化の知恵の今日的伝承
金沢工業大学 小木教授	【加賀市】唾液中ストレスマーカーを用いた癒し効果検証による、山中温泉のブランド向上の試み
金沢星稜大学 池田教授	【穴水町】地域環境を活かした商店街活性化策の検討
金沢大学 大友教授	【株式会社 上野組】上野組における細野組こぼろの復活およびブランド戦略
金沢大学大学院 高山教授	【中能登町】中能登町におけるコミュニティバスの効率的運行について
金沢星稜大学 堂下講師	【能登町】観光客のキリコ祭り体験参加による地域振興の検討
金沢大学 宇野客員教授	【珠洲市】珠洲市の CATV を活用した地域づくりと地域 PR の取り組み
金沢大学大学院 高山教授	【七尾市】七尾市内合宿施設への誘客策の提案ならびに地域活性化策の検討に関する調査研究
金沢大学 溝部教授	能登半島地震の産業等への影響に関する社会調査研究
金沢大学 森教授	常德寺所蔵、「黄檗版大蔵経」の調査・修復・整理
石川県立大学 辻井教授	【能登町】能登町の祭り・文化・経済の振興と都市民の交流・定住増加の可能性の調査研究
石川県立看護大学 金川教授	【かほく市商工会】高齢社会における地域商店の役割について—高齢者が活用しやすい地域商店の在り方について—
金沢工業大学 土田教授	【音に出会う風景塾（珠洲市）】祭りの保全・再生に関する基礎的調査
石川工業高等専門学校 村田講師	津幡町地域における伝統建物・町並み調査およびその地域文化の研究

金沢会場

能登会場

地域貢献型学生プロジェクト事業

学生グループと地域ニーズのマッチングによる地域貢献活動

この事業は、大学の授業で地域と連携して行う体験活動や学生の課外におけるボランティア活動を活発化させようという趣旨から、大学コンソーシアム石川を核として、学生の社会参加意欲と地域ニーズのマッチングにより、学生と地域住民の交流を促進させる目的で実施しています。

平成 19 年度においては、下記の 12 件のリーディングプロジェクトの実施を行いました。

マッチングの事例をご紹介しますと、NPO 法人能登ネットワークから提案のあった、能登半島地震被災者の、報道では伝えきれない地震の経験を通して得た知恵や記憶を学生の力を借りて情報発信をしようという活動（金沢大学 WEBKRUS）や、白山市から提案のあった旧白峰村の方言を見直し、方言を活かした地

域づくりにつなげようとする活動（金沢大学教育学部加藤和夫研究室）、のどじま手まつり実行委員会から提案のあった「クリエイターズマーケット 2007 のどじま手まつり」イベントの運営ボランティア参加（星稜女子短期大学英会話サークル）等、県内全域で学生グループが活動を行いました。

この学生の活動内容を広く紹介し、地域貢献活動を活発化させようと、リーディングプロジェクトに参加した学生、教員を中心に 2 月 24 日にいしかわシティカレッジにおいて交流会を開催しました。当日は、約 60 名が参加し、活動紹介や、大学の枠を超えた交流、意見交換が活発に行われました。新たな連携活動の始まりが期待されます。

総持寺通り商店街の住民の方のお話を聞く金沢大学 WEBKRUS のメンバー。



交流会で大学の枠を超えて意見交換する学生達。



活動地域	モデル事例	学生団体
金沢市	地域交流プロジェクト～園児と地域住民の交流による地域づくり～	金沢・若人もれしゅん塾（金沢星稜大学）
金沢市	金沢駅もてなしドームでのエコロジーフェスティバル “笑顔でエコ・どんどこドン”	金沢ドーム（金沢星稜大学）
金沢市	学生・地域が一体となり金沢の街に賑わいを！合同学園祭で学部金沢の再興を！	創ル部（大学連携）
七尾市	クリエイターズマーケット 2007 のどじま手まつり	英会話サークル（星稜女子短期大学）
輪島市	能登半島地震で被害を受けた地域の人々の知恵、経験、記憶を残そう、若い世代に伝えよう	金沢大学 WEBKRUS（金沢大学）
輪島市	里の知恵コーディネート事業（地域人材の発掘等）	金沢大学経済学部 地方財政論演習（金沢大学）
輪島市 穴水町	能登半島地震被害地域における歴史資料の調査	金沢学院大学 日本史研究会
かほく市	こどもから高齢者までの共同参加型体力づくり	石川県立看護大学 フィットネスサークル
白山市	白峰方言の伝承活動	金沢大学教育学部 加藤和夫研究室（金沢大学）
白山市	白山麓地域における田舎暮らし体験イベント実践活動	金沢大学法学部 知的財産法ゼミ（金沢大学）
白山市	白山市宮保地区・笠間地区の高齢者と学生の世代間交流	ゆうがく広場（金城大学）

「NEWS & INFORMATION」はあなたの団体のイベント告知や、活動メンバー募集などを掲載するページです。掲載ご希望の団体は事務局までご連絡下さい。

羽咋の郷土史を学習する会

参加のお問合せ 0767-22-2023

募集

羽咋市にある文化財や、歴史的意義、寺社仏閣の勉強会です。中世から近世にかけて発展した羽咋を勉強します。

- 活動日 毎月第1週の日曜日
- 活動地域 基本的に石川県
- お問合せ 〒925-0051 羽咋市島出町フ 116-1 (吉野)
TEL. 0767-22-2023 MOBILE. 090-7741-5883
g555.3moku.neo@crocus.ocn.ne.jp

金沢の山里朝市が始まります！ 金沢山里朝市回廊連絡会

参加のお問合せ 076-220-2214

イベント

地元の農家が丹精込めて育てた野菜やお米など、旬の物を朝市で販売します。是非お立寄りください。「朝市マップ」を希望者に配布します。

- 旭日やさい村 朝日牧町 (国道 359 号線沿い)
4月27日(日)～ 毎週水・日曜日 7:00～
- 湯涌朝市 湯涌荒屋町 (金沢湯涌みどりの里)
4月20日(日)～ 毎週日曜日・(水曜日) 7:00～
- 犀川おはよう市場 末町 (JA 犀川支店倉庫前)
4月19日(土)～ 毎週土曜日 8:30～
- 直売所「別所」 別所町 (別所町会館横)
4月6日(日)～ 第1・3日曜日 8:00～
- 松根町青空市 松根町 (松根城址近く)
6月21日(土)～ 毎日 (月2日間休み) 6:30～
- 304 水芭蕉市 東原町 (国道 304 号線沿い)
6月15日(日)～ 毎週日曜日 8:00～
- ごんでん朝市 北方町 (県道二俣・古屋谷線沿い)
6月1日(日)～ 毎週日曜日 7:00～
- みちづれ 二俣町 (金沢・井波線沿い)
一年中 毎週金・土・日曜日 9:00～

- お問合せ 金沢市農業総務課
TEL. 076-220-2214

金沢湯涌みどりの里 体験教室

参加のお問合せ 076-235-8033

イベント

金沢湯涌の豊かな自然の中で、市民農園や果樹園での農業体験をはじめ、そば打ち体験や農産物加工体験も楽しめます。申込方法等は、お気軽に下記までお問合せ下さい。

■ そば打ち体験教室 (全 20 回)

会 期 4月12日(土)、13日(日)、26日(土)、27日(日)
5月10日(土)、11日(日)
6月21日(土)、22日(日)
7月26日(土)、27日(日)
8月9日(土)、10日(日)
9月27日(土)、28日(日)
10月18日(土)、19日(日)
11月8日(土)、9日(日)
3月28日(土)、29日(日)

時 間 10:00～12:00、13:30～15:30

参加費 2,000 円／組 (2～4 人／組)

■ ハーブ教室 (全 8 回)

会 期 6月1日(日)、29日(日)
8月31日(日)
9月21日(日)
10月12日(日)
11月2日(日)、30日(日)
12月7日(日)

時 間 10:00～12:00

参加費 1,700 円／人

■ その他体験教室

そば栽培、親子リンゴ収穫・お菓子づくり、味噌づくりなど

- 会 場 金沢湯涌みどりの里
石川県金沢市湯涌荒屋町47番地
- お問合せ 金沢湯涌みどりの里
TEL. 076-235-8033 FAX. 076-235-8032